

令和6年度 第4回 学校運営協議会



【なかよし学級太鼓教室】



【年長児 1 年生授業見学】



【ストラックアウト】

日時：令和7年2月6日(木) 10:00～12:00

場所：浜松市立可美小学校 会議室

次 第

- | | | |
|----|---------------------------------------|--------|
| 1 | 開会の言葉 | 10:00～ |
| | ・開催要件の確認 | |
| | ・日程説明 | |
| 2 | 会長挨拶 | |
| 3 | 校長挨拶 | |
| 4 | 授業参観 | 10:20～ |
| 5 | 議長の選出 | 10:50～ |
| 6 | 前回議事録の確認 | |
| 7 | 熟議 | |
| | (1) 学校関係者評価（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む） | |
| | (2) 来年度の学校運営について | |
| | (3) 学校運営協議会の自己評価 | |
| 8 | 報告 | |
| | 学校支援コーディネーターからの報告 | |
| 9 | 連絡 | |
| | (1) 夢育やらまいか（CS加算分）報告 | |
| | (2) 令和7年度 第1回学校運営協議会 | |
| | 令和7年5月15日（木）10:00～12:00 会議室 | |
| | (3) 退任者挨拶 | |
| 10 | 閉会の言葉 | 12:00 |

令和6年度 可美小学校 学校評価

1 令和6年度の取り組み

学び合う子（知）

自分の考えをもって主体的に学び
友達と一緒に深め合う子

- 自己との対話と他者との対話
- 自分の考えを広げ深める学習方法
- キャリア教育と学習との関わり
- ICT機器の効果的な活用方法

認め合う子（徳）

やさしさや思いやりの気持ちをもち、互いに協調し支え合う子

- 教育的ニーズにあった支援
- 一人一人に寄り添った生徒指導
- 「特別の教科道徳」を要として
- みんなが主役の特別活動

高め合う子（体）

健康・安全への意識を高め、目標に向かって粘り強く取り組む子

- 運動・遊びの内容や環境の工夫
- 目標設定と練習過程の賞賛
- 自己有用感の高まり
- 食に対する自己管理能力の向上
- 健康で安全な生活の実践力

2 自己評価（3者評価） 「そう思う。」「大体そう思う。」と答えた割合

	質問項目	児童	保護者	教員
学 び あ う 子	子供たちは、楽しく授業に参加している。	91.2%	89.4%	97.7%
	子供たちは、授業の内容を理解できている。	89.7%	81.4%	93.2%
	子供たちは、自分の考えをもって進んで学習に取り組んでいる。	87.3%	67.9%	86.3%
	子供たちは、調べたり話し合ったりする活動を通して、自分の考えを広げようとしている。	89.3%	70.4%	86.4%
	子供たちは、キャリア教育の意義を理解し、今の活動と将来のことが関係していることを意識している。	87.2%	65.5%	66.0%
	子供たちは、ICT教育に興味・関心を持ち、情報活用能力が高まっている。	93.2%	90.7%	100%
	子供たちは、家庭学習の習慣が身に付いている。	88.9%	73.6%	84.1%
認 め 合 う 子	子供たちは、安心して楽しく学校生活を送っている。	91.3%	91.6%	100%
	子供たちは、違う考えの友達とも尊重し合い、仲良く生活している。	94.1%	87.1%	97.7%
	子供たちは、係や委員会の仕事を一生懸命頑張っている。	90.3%	90.5%	97.7%
	子供たちは、明るい挨拶や正しい言葉遣いをしている。	86.6%	76.6%	90.9%
	子供たちは、きまりや約束、マナーを守って生活している。	91.5%	89.3%	86.4%
高 め あ う 子	子供たちは、体を動かしたり、外で遊んだりすることが好きである。	83.0%	81.1%	95.5%
	子供たちは、進んで外遊びや体力作りをしている。	79.7%	64.7%	86.8%
	子供たちは、好き嫌いなく給食を食べている。	78.6%	43.0%	63.6%
	子供たちは、安全や健康に気を付けて生活している。	93.2%	88.6%	84.1%
	学校は、たよりやさくら連絡網、ホームページ等を通して、必要な情報を発信している。		94.4%	100%

3. 学校関係者評価

○

4. 今後の改善方策

- いじめ基本方針を職員で再確認し、子供の話をじっくり聞く（傾聴）、認め励ます（ボイスシャワー）ダメなものはダメという毅然とした態度を心掛け、子供との人間関係、信頼関係を深める。
- 「分かる授業」「楽しい授業」を目指し、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習スタイルの構築について研修を深める。
- 学級ごとの重点目標を月初めに話し合い、ルールや決まりを守る大切さの意識を高める。
- 係活動や委員会活動、代表委員会など、ここに目的意識をはっきりさせ、一人一人が活躍できるみんなが主役の特別活動を目指し、子供の自主性を伸ばす。
- 望ましい栄養や食事の取り方、食事のマナー等、給食の時間を中心に職の大切さについて指導し、自分の食生活や食習慣に対する自己管理能力を高める。



可美っ子

浜松市立可美小学校

学校だより No. 10

令和7年1月22日

Kami-e@hamamatsu-szo.ed.jp

令和6年度教育活動に関するアンケートから

可美小学校の学校教育目標「美しい心でともに未来に向かって輝く子」のもと、学び合う子、認め合う子、高め合う子を育てるために、重点施策を設定して、様々な教育活動を行ってきました。それらの内容について目標が達成できているか確認し、今後に生かしていくために、保護者の皆様・児童・教員の3者からアンケートを取りました。以下に、アンケート結果の概要を報告します。

【学び合う子】に関する内容

- 「子供たちは、楽しく授業に参加している」

の項目は「授業は楽しい」と答えた人が全体の90%以上を占め、授業に楽しんで取り組んでいる様子が分かります。しかし、子供の5%程は「授業が楽しくない」と答えており、これからも意欲的に授業に参加できるよう、単元を見通した学習計画を、児童と共に立てたり、児童自身が「何を、どのように、何のために」学ぶかを考えられるよう、キャリア教育とも関連付けながら授業を行っていきます。



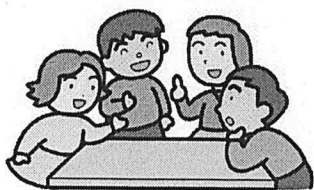
- 「友達と考え方を出し合い、相談したり話し合ったりする活動に意欲的に参加する」は90%近くが参加していると回答しています。深い学びに結び付くよう今後も引き続き、対話をするための基礎を整えるとともに、対話の技術を習得させていきます。

- ICT教育については、90%以上が「できている」と回答しました。今後もタブレットの持ち帰りを行之、ICT機器を積極的に活用するとともに、情報モラル教育の充実を図っていきます。

なお、タブレットの持ち帰りが重くて大変そうだという意見をいただきました。子供たちの持ち物を考慮し、負担の軽減が図れるようにしていきます。

- 家庭学習の取り組みについて、保護者が「できている」と回答した割合は73%、子供の回答では89%でした。子供と保護者の感じ方が大きく違うようです。今後も家庭学習が習慣化されるよう手立てを工夫していきます。

【認め合う子】に関する内容



- 90%以上の子供が「安心して楽しく学校生活を送っている」と回答しましたが、「そうではない」と回答した子もいます。子供たちの気持ちに寄り添い、子供たち全員に「安心できる学校」と言ってもらえるよう、子供に寄り添った支援に努めます。

- 「きまりや約束、マナーを守っている」と子供も、保護者も90%以上が回答しています。「守れない、自分で守っていない」と感じている子供にどのように指導していくかをみんなで共通理解して指導に当たります。
- 挨拶や言葉遣いに関しては、保護者や子供たちの80%程が「できている」としている。今後も明るい挨拶が響くよう教師も保護者も率先して挨拶をしていきたいです。



【高め合う子】に関する内容



- 「体を動かしたり、外で遊んだりすることが好き」と83%の児童が回答しました。「そうではない」と回答した児童が15%程度おり、2極化が進んでいます。運動することのよさや楽しさを実感できる活動や場の設定に努めていきます。また、短期的な運動の意義だけでなく、生涯スポーツを意識させ、将来にわたりスポーツをより身近なものとするよう声掛けを続けていきます。

- 「好き嫌いなく食事をしている」と回答した割合が児童は78%、保護者は43%となっています。栄養バランスよく朝食を食べている子供の割合も低くなっています。給食指導を通し、子供たちにバランスのよい食事をする事の大切さを指導していきます。なお、家庭でも子供たちに好き嫌いなくバランスの良い食事をする事の大切さについて、話題にしてください。

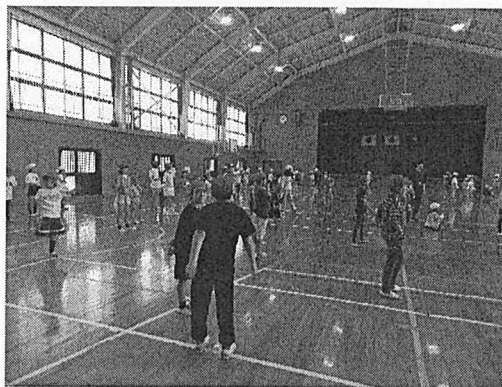


全体を通して

アンケートを分析し、目標を達成できたことはさらに伸ばし、達成できなかったことについては課題として捉えて分析し、それらを参考に来年度の教育活動を考えていきます。

学校と家庭、そして地域の方々の協力や連携があってこそ、子供たちは成長していくことができます。そのためにも、学校と家庭、地域が同じ視線で可美小の子を育てていけるよう、今後ご理解とご協力をお願いします。

詳しい結果につきましては、ホームページに掲載いたしました。是非ご覧ください。





美しかる可き里 可美

【めざす学校像】「明日、また来たくなる学校」

【校訓】

【学校教育目標】

誠実・勤勉 美しい心で ともに未来に向かって輝く子

学び合う子（知）

自分の考えをもって主体的に学び、友達と一緒に深め合う子

【重点施策】

- 自己との対話と他者との対話
- 自分の考えを広げ深める学習方法
- キャリア教育と学習との関わり
- ICT機器の効果的な活用方法

認め合う子（徳）

やさしさや思いやりの気持ちを持ち、互いに協調し支え合う子

【重点施策】

- 教育的ニーズにあった支援
- 一人一人に寄り添った生徒指導
- 「特別の教科 道徳」を要として
- みんなが主役の特別活動
- 温かい人間関係作り
- いじめ防止基本方針の周知徹底

高め合う子（体）

健康・安全への意識を高め、目標に向かって粘り強く取り組む子

【重点施策】

- 運動・遊びの内容や環境の工夫
- 目標設定と練習過程の賞賛
- 自己有用感の高まり
- 食に対する自己管理能力の向上
- 健康で安全な生活の実践力

キャリア教育を核とした人づくり

かかわる力

（人間関係形成社会形成能力）

えらびだす力

（キャリアプランニング能力）

か み え み
可美笑み

みいだす力

（課題対応能力）

みつめる力

（自己理解・自己管理能力）

土壌となる学校風土

生命（いのち）が大切にされ、
やさしい気持ちや正しく豊かな言葉があふれる魅力ある学校

学ぶ楽しさがわかり、 自分らしさを発揮できる学校

- ・「分かる授業」「楽しい授業」
- ・キャリア教育を核とした人づくり
- ・情報活用能力の育成
- ・あたたかな聴き方、やさしい話し方

子供たちの居場所があり、 安全・安心で心温まる学校

- ・教育的ニーズにあった教育支援
- ・美しい心を育てる生徒指導
- ・温かい人間関係と自己有用感
- ・傾聴、ボイスシャワー

保護者や地域に開かれた、 信頼される学校

- ・学ぼう！ふるさと可美
- ・積極的な情報発信（HP・ブログ等）
- ・地域の教育力の活用
- ・学校運営協議会（CS）新設

～発達教育の理念を根幹に据えて～

幼小中一貫教育 ～12年間の学びと生活と行事をつなぐ～可美地区の目指す子どもの姿
心の美しい子